

懐かしさを感じる。そこではかつて全日本大会・西日本大会が開催された。

2008年5月24-25日  
広島県神石高原町・庄原市東条  
スコラ高原オリエンテーリング大会

## 10年を迎える恒例行事

平成9年度の全日本大会を開催した「帝釈峡」に隣接するこのトレインでは、その後も毎年恒例の行事として10回目の開催を迎えた。2日間大会としても3年目を向かえ、第1日目の5月24日(土)は神石高原町の「休暇村帝釈峡」でスプリント種目、第2日の5月25日(日)は庄原市東条でロング種目が開催された。

## 第1日スプリント 休暇村

名古屋から新幹線で福山へ11時過ぎに到着。福山からレンタカーで会場へ向かった。思っていたより距離があり、カーナビの到着予想時刻は13時30分と想定より1時間ほど遅い。福山の市街を抜けると、国道182号線はかなり登りとカーブの厳しい山間路になる。途中から、国道を外れた0マップと言えば黒実線の道に誘導され、不安を感じつつ進む。

よく、要項を読まずにスプリントだからスコラ高原だろうと思い込み、スコラ高原のコスモドームに到着したのが1時。あらためて要項を見ると、休暇村帝釈峡となっており、先ほど前を通過した休暇村へあわてて引き返す。駐車場でなじみの顔を見てほっとする。

すこし雨が落ちてきた。競技センターの体育館周辺は木立に囲まれトレインの全貌はつかめず。

14時から競技開始。スタート枠に近いスタートフラッグのため、方向感覚が整わず、足が止まる。全日本前日の服部緑地でのパーク0でもスタート直後の分岐でうろついた。ほどなく、開けた芝生地にでて、感覚をとりもどし進む。MVの4コントロールでは地形を沢と読み取った3分前スタートのランナーに追いつくが近接の5から6に向かう際に、笹藪を避けきれず、大きくロスをし、1分取り戻された。競技中はオープンとか建物というようにしか捕らえていなかったが、あらためて地

図を見ると、オートキャンプ場であったり、コテージであったり、今年1月に私の所属する三河オリエンテーリングクラブが開催した伊良湖リレー大会の休暇村伊良湖同様な設備が旧国民休暇村として整えられていることがわかった。さらに、地図の南部分には大きな凹地がいくつかあり、隣接するスコラ高原とおなじ石灰岩地質地帯であることが現れている。



上のコースの第7コントロール付近

宿は、全日本大会会場であった帝釈小学校近くの旅館。広島牛や鯉の刺身などこの地方の食を味わった。

## 第2日ロング スコラ高原



平成9年度全日本大会会場の帝釈小学校

10年前の全日本大会の会場だった帝釈小学校の校庭に上がってみる。校社

に向かって右手に銀色の体育館が見え、懐かしく思う。今日は区民の運動会と思われ、校庭にテントが張られ、続々と詰め掛けていたが、昨日からの雨でグラウンドの状況が思わしくなく、トラック立入禁止の看板があった。



スコラ高原コスモドームの観覧席で着替えスタートへ。帝釈小学校に向けて道はかなり下ったので、レース中の登りの量が気になった。レース中盤には帝釈峡を延々と走ったあと厳しい登りが待ち構えるコースで、かなりへたばるものの、会場へは相当近づいた。ラスト前のあと、地図を見間違え前のコントロールへ向かってしまい、大きなロスをしでかす。

M50Aは三重県から参加の小八重さんが前日に続いて優勝。MEはES関東Cの山本さんが前日の雪辱を果たす。

(小野盛光)



コスモドーム前にフィニッシュ